



## スペインのProyecto Hombre グラナダ支部の取り組み — 成人を対象にしたプログラムについて —

井上智恵（立命館大学大学院社会学研究科博士後期課程3回生）

### Proyecto Hombre グラナダ支部の紹介

薬物使用とその他のアディクションによる社会的問題に対応する施設として、2000年に民間非営利組織「Proyecto Hombre Granada」を設立

### 2014年度の資源・実績

- 施設数: 治療施設4カ所とハームリダクション施設 (CEA)
- プログラムの種類: ベーシック治療共同体プログラム、通所プログラム、夜間プログラム、思春期プログラム、思春期の子どもを持つ親の教室、刑務所プログラム、ハームリダクションプログラム、予防プログラム
- 人的資源: 被雇用者34名、ボランティア111名
- 対応者数: 1,029名  
(治療プログラムを受けた者: 778名、情報を受けた者: 251名)
- 予防プログラムの受講者数: 12,623名 (教育機関71校)
- 支出額: 788,942ユーロ (1億644万2719円: 134.9円/1ユーロで換算)



スペインの人口: 46,512,199  
グラナダの人口: 918,382  
(2014年1月1日時点のINEとIECAによるデータ)

### 成人対象の治療プログラム

インテーク面接: 評価と診断 (1~3回)

プログラム名 (期間):	ベーシック治療共同体プログラム (2年):	通所プログラム (1年半):	夜間プログラム (1年半):
プログラムの特徴	一般的に長期間の薬物使用により心身ともに影響が出ており、また社会的・職業的活動についても困難度合が高い人を対象にしたプログラム。プログラムの目的は、これまでの生活習慣を変え、ライフスタイルを改善し、自立・自律を獲得する	自己および家族構造の大部分を保持し、入所プログラムを必要としない人を対象にしたプログラム。プログラムの目的は、責任感を育て、対処能力や自立・自律を獲得することであり、教育面に力を注いでいる	仕事を持ち、家族からの支援がある人を対象にした通所型のプログラム。労働時間に配慮し、夜間にプログラムを実施。プログラムの目的は、自立・自律に基づく自己変化を促進することである
利用者の特徴	多剤乱用、アルコール	※2014年度からの新プログラム アルコール、大麻、ギャンブル	コカイン・アルコール
段階: 目的			
第1段階: 初期介入・動機付け	入所型治療サポート施設 (1~3カ月)	通所型「オリエンテーション」(1ヶ月)	「レベル1」(3~4カ月)
規則と制限		通所型「モチベーション」(2~3カ月)	
態度と行動			
第2段階: 自己発見と成長	「治療共同体」(6カ月) ※一般的に入所型	「自己理解」(6~8カ月)	「レベル2」(6~8カ月)
第3段階: 維持と自立・自律	通所型「社会復帰」グループA (6カ月) グループB (3カ月) グループC (3カ月)	「自立・自律」(3カ月)	「レベル3」(3カ月)

### ハームリダクションプログラム ① (通所・受け入れ施設):

薬物の使用量を減らし、生活の質を改善する中間目標があるプログラム

### ハームリダクションプログラム② (CEA施設):

インテーク面接: 評価と診断

#### サービス:

- 情報提供と受け入れ
- 基本的ニーズに対応 (食事の提供、洗濯機の貸し出し、衛生面の改善、一時的荷物預かり、身分証明書の保管、仮眠室、新聞や本などの閲覧など)
- 社会衛生サービス
- 心理社会的アプローチ
- HIVの早期発見
- 予防と害の縮小
- 社会就労支援

#### プログラムの終結:

- 生活習慣の構築 (衛生、食事、時間の管理、危険な行動への対処等)
- 身分証明などを有効化
- 書類などの手続きができる
- 住まい探し
- 社会復帰 (社会参加、職業訓練、就労)
- 精神衛生上の対処法あり
- 他のアディクション回復支援施設に移動

※QOLの改善に重点を置く

▶プログラムの修了: 治療過程で自立・自律、人生計画、自己効力感を得た状態であり、個人、家族、社会就労レベルにおいても目標を達成していることからプログラムを修了。▶プログラムの辞退: 個人的理由によってプログラムを終了すること。▶プログラムの放棄: セラピストに連絡をすることなく、プログラムを放棄し、施設から立ち去ること。▶強制退去: 治療契約違反による追放。▶治療の終了: 中間目標と断薬を獲得した状態

### プログラムの実績:

※通所プログラムの利用者数は、ベーシック治療共同体プログラムに含まれている

プログラム名	参加者数	プログラム修了者数
ベーシック治療共同体プログラム	219 : (男)171, (女)48	17 : (男)13, (女)4
夜間プログラム	54 : (男)48, (女)6	20 : (男)18, (女)2
ハームリダクション①	2 : (男)0, (女)2	—
ハームリダクション②	336 : (男)279, (女)57	31 : (男)27, (女)4

### 利用者の特徴/今後の課題:

2014年度に治療プログラムを受けた利用者の特徴は、男性76%、平均年齢39歳、独身者48%、義務教育未修了者69%、核家族と暮らしている者77%、薬物使用による未決犯罪あり14%、受刑歴あり20%であった。また、利用者の主たる薬物については、「コカイン」20%、「大麻」19%、「多量飲酒」18%、「アルコールとその他の薬物」18%、「多剤乱用」15%、「ベンゾジアゼピンとアンフェタミン」10%であった。

今後もプログラムを評価し、利用者の特徴に見合ったプログラムにデザインし続けていくことが課題である。

引用文献: 『Proyecto Hombre グラナダ支部年次報告書2014年版』